

海修山寺瓶原郷仏生寺村の山上にあり。〔坂路八町あり、又登大路よりも登る道あり〕

当寺は聖武天皇の勅願所にして、中興は解脱上人なり。〔又解脱の上足慈心上人もこゝに住給ひしなり〕宗旨真言にして、本尊は十一面観音、脇士は地藏毘沙門を安置する。三重塔〔招提寺の開祖鑑真和尚漢土より将来して、聖武帝に献りし仏舍利を本尊とす〕文殊堂〔本尊は文殊菩薩なり。役行者の像を安置す〕影向松〔春日大明神此松に影向したまひ、解脱上人に逢ひ給ふ所なり〕奥院〔本尊十一面観音は解脱上人の作なり、左右に解脱上人の像、慈心上人の像を安置す。又南の壁に月形の窓あり、此所より春日明神影向し解脱上人に謁し給ふとなり〕解脱上人塔、慈心上人塔〔本堂より一町ばかり西にあり〕

井手守〔慈心上人耕作のため井手守十六人を選て早損の愁を扶給ふ。其支流今に絶ずして此里に扶持し、十六人あり。常に水筋を守て早魃の難なし、これを井手守と号す〕